

3月18日2週間ぶりの生徒登校日となりました。体育科の寮に入っている生徒たちも自宅から登校してきてくれました。保護者のご



協力があることでこの場をお借りして、感謝申し上げます。また、1,2年生共に欠席はなしということで、「学校大好き社高校生」を卒業した72回生に引き続き証明してくれたように思います。嬉しい限りです。さらに、校舎内に響く生徒たちの声、いつもは当たり前に思っていたのですが、この日は「学校はこうでないといけな」と強く感じました。

生徒が学校に来てこそ、学校になるということです。生徒がいなければ敷地の広い施設というだけですから・・・。早く日常に戻れるように、この精神的にも身体的にも経済的にもしんどい時期を乗り切らねばならないと思いました。そのためにはいろいろなことの再開に向けた動きを始めると同時に一人一人が衛生面での注意を守り、徹底していくことが大切になってきます。

写真にある通り3月18日は教科書販売と個人写真撮影が行われました。新年度に向けた準備ですが、類型ごとに教科書が変わるため、かなりの重量になっていました。それでも友達同士で確認しながら楽しそうにしている様子は微笑ましいものがありました。個人写真撮影では頭髪や制服のチェックを受けて、順に写真を撮られていましたが、お互いの顔を確認しながらこちらもとても良い顔で写真写りも良かったのではないのでしょうか・・・。生徒たちの元気な姿を見ることができて久しぶりに学校を感じる事ができました。

放課後の部活動では、生徒たちが本当に生き生きと活動していました。すべての部をまわるとはできませんでしたが、楽しそうに活動できる喜びがあふれる感じがして安心しました。体育科の寮生は自宅からの往復が大変だったと思いますが保護者の方々にも迎えに来ていただくなどご苦勞をおかけしました。23日も同じような状況になります



が、ご理解をいただきよろしくお願



いいたします。出会う生徒みんながとても良い顔をしてくれたように感じましたが、

これが当たりの姿かなという実感です。臨時休業してから何度も書いていますが、当たりの状態が当たり前にできない苦しさをどのように克服していくか工夫することで力がついてきます。普段あまり考えないことをこういった機会に考え、自分自身を見つめなおすことで大きな力になって返ってくると思いますので、とにかくプラスにとらえてできることを精一杯やりましょう。感染の心配や活動できない心配をするより、より前向きにこの時間をどう過ごすかを考えていった方がやったことも身につきますし、面接などの機会に話できることもあるのではないかと思います。いろいろな場面に活かせることなので、今回の経験を大事にしていきたいと思います。

23日には修了式をします。放送による私からの話と通知表や配布物を渡したり、春季休業中の注意事項や課題の確認等をしたりすることになると思います。その後は部活動ができます。午後からは合格者招集ということで新1年生が保護者と一緒に登校してきます。そういった姿を見ると上級生は、自分自身の当時を思い出してまた新鮮な気持ちになれると思います。その気持ちを大切に4月からの学校生活の良いスタートを切ることができるように頑張りましょう。

それでは次回皆さんに会える23日を楽しみにしています。それまでの間、普段通りの規則正しい生活で、体調の維持管理に気を付けておいてください。